

令和2年4月30日

赤穂市教育委員会 様

公益財団法人赤穂市文化とみどり財団

理事長 豆田 正 明



令和元年度 赤穂市立海洋科学館の事業報告について

赤穂市立海洋科学館指定管理者管理運営基準に基づき、令和元年度管理委託に係る事業について別紙のとおり報告いたします。



海洋科学館(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

開館日数 307日

常 設 展				特 別 展			合 計		
区 分	入館料 (円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館料 (円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	入館人員(人)	入館料収入(円)	
個 人	大 人 200	8,696	1,739,200	大 人 300	1,832	549,600	10,528	2,288,800	
	小中学生 100	2,052	205,200	小中学生 150	809	121,350	2,861	326,550	
団 体	30人以上	大 人 160 小中学生 80	6,992 1,570	1,118,720 125,600	大 人 240 小中学生 120	1,456 633	349,440 75,960	8,448 2,203	1,468,160 201,560
	100人以上	大 人 120 小中学生 60	215 523	25,800 31,380	大 人 180 小中学生 90			215 523	25,800 31,380
減	個 人 50%	大 人 100	465	46,500	大 人 150	88	13,200	553	59,700
		小中学生 50	133	6,650	小中学生 75	41	3,075	174	9,725
免	団 体 30人以上50%	大 人 80	130	10,400	大 人 120			130	10,400
		小中学生 40			小中学生 60				
	団 体 100人以上50%	大 人 60			大 人 90				
		小中学生 30			小中学生 45				
	100%	大 人 小中学生	1,150 3,181		大 人 小中学生	175 771		1,325 3,952	
特別利用券利用者	大 人 小中学生	11		大 人 小中学生	33		44		
赤穂観光パスポート	通りゃんせ	67	(@120×164) 19,680	通りゃんせ	9		76	19,680	
合 計	大 人	17,726	2,960,300	大 人	3,593	912,240	21,319	3,872,540	
	小中学生	7,459	368,830	小中学生	2,254	200,385	9,713	569,215	
	計	25,185	3,329,130	計	5,847	1,112,625	31,032	4,441,755	

(赤穂観光パスポートの入館料収入は、常設展にまとめて計上した。)

特別展、企画展等の事業報告

海洋科学館

特別展

期 間 令和元年7月20日(土)～9月1日(日)
名 称 「いろいろな『虫』大集合！」
内 容 世界、日本、兵庫、さらには赤穂海浜公園内にもいろいろな昆虫が棲んでいます。今回の特別展は、子どもたちの間で大変ブームになっているモルフォチョウなどの綺麗な蝶、ヘラクレスオオカブトなどのかっこいいカブトムシ、デンデン虫やダンゴ虫などを展示しました。
入館者数 5,847人

探鳥会

開催日時 5月12日(日) 9時～12時 参加者11名

科学館の指導普及事業

(1) 運営協力会の開催

委員数 15名
開催日 第1回 令和元年5月18日(土)
第2回 令和元年7月27日(土)
第3回 令和元年11月16日(土)
第4回 令和2年2月15日(土)

(2) 科学教室の開催

名 称 「子ども科学教室」
内 容

	テ ー マ	開 催 日 時
第1回	うどんて科学するー塩のはたらきー	6月22日(土) 9:00～12:00
第2回	施設見学「大阪市立科学館」	9月 7日(土) 8:00～16:30
第3回	天体観測	10月 5日(土) 18:00～21:00
第4回	身近な自然観察 坂越編	11月16日(土) 9:00～12:00
第5回	顕微鏡で見るミクロの世界	12月 7日(土) 9:00～12:00
第6回	バードウォッチング	1月18日(土) 9:00～12:00
第7回	音と共鳴	2月15日(土) 9:00～12:00

指導者 海洋科学館運営協力会委員外
参加者 市内小学4年生～6年生 35名

(3) 夏屋台実験教室の開催

名 称 「サイエンス寺子屋」

開催日 7月28日(日)

内 容

No.	ブース(屋台)名
1	バランスバード
2	ホバークラフト
3	大気圧でぺったん!!
4	葉脈しおり
5	万華鏡をつくろう
6	虹がミエ〜ル
7	ハイ!紙コプター
8	トレジャーハンターV
9	ハンドパワー
10	ストラップをつくろう
11	自動運転をプログラムしよう
12	人と自然の博物館「葉っぱであそぼう」

スタッフ 海洋科学館運営協力会委員

協 力 兵庫県立人と自然の博物館、関西福祉大学生、赤穂高校生外

参加者 小学1年生～6年生児童等 450名

赤穂市立海洋科学館の管理運営に関する業務の収支決算書
(令和元年度分)

(単位:円)

収入

項目	予 算	決 算	差 引	内 訳
海洋科学館管理収入	16,220,000	15,010,343	1,209,657	海洋科学館管理収入
施設利用料収入	4,418,000	4,441,755	△ 23,755	施設利用料収入
合 計	20,638,000	19,452,098	1,185,902	

支出

項目	予 算	決 算	差 引	内 訳
人件費				
給料手当支出	9,575,000	8,965,448	609,552	職員給 3人
臨時雇賃金支出	2,000,000	1,845,464	154,536	臨時職員賃金 1人
福利厚生費支出	2,043,000	1,735,914	307,086	社会保険料外
小 計	13,618,000	12,546,826	1,071,174	
物件費				
旅費交通費支出	5,000	4,400	600	旅費
消耗品費支出	535,000	532,783	2,217	特別展消耗品外
燃料費支出	59,000	47,193	11,807	ガソリン代
会議費支出	8,000	7,408	592	来客賄
印刷製本費支出	401,000	390,085	10,915	特別展ポスター印刷外
光熱水費支出	2,097,000	1,858,830	238,170	電気代外
修繕費支出	280,000	279,880	120	空調機修繕外
飼料費支出	26,000	8,432	17,568	展示用魚餌代
通信運搬費支出	164,000	149,548	14,452	電話料外
保険料支出	64,000	53,960	10,040	自動車損害保険料外
委託料支出	2,571,000	2,570,070	930	清掃管理業務委託 977,946 展示備品管理委託 483,520 建物管理業務委託外 1,108,604
使用料賃借料支出	1,012,000	951,894	60,106	複写機使用料外
消耗什器備品費支出	28,000	26,961	1,039	事務備品
負担金支出	20,000	20,000	0	県博物館協会負担金外
雑費支出	4,000	3,828	172	諸雑費
小 計	7,274,000	6,905,272	368,728	
合 計	20,892,000	19,452,098	1,439,902	

赤穂市立海洋科学館指定管理者自主事業収支決算書
(令和元年度分)

(単位:円)

収 入

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
科学館指導普及事業収入	140,000	140,000	0	子ども科学教室参加負担金
赤穂市補助金収入	770,000	670,562	99,438	科学館指導普及事業補助金
合 計	910,000	810,562	99,438	

支 出

項 目	予 算	決 算	差 引	内 訳
科学館普及啓発事業費				運営協力会事業 173,540 子ども科学教室事業 423,384 夏屋台実験教室 211,058 探鳥会事業 2,580
旅費交通費支出	29,000	17,600	11,400	旅費
消耗品費支出	195,000	184,518	10,482	教材外
会議費支出	83,220	83,220	0	ボランティア賄外
印刷製本費支出	20,000	14,239	5,761	子ども科学教室記録写真プリント代
通信運搬費支出	19,000	18,995	5	郵便料
保険料支出	30,000	29,900	100	ボランティア保険料外
委託料支出	176,780	160,090	16,690	子ども科学教室施設見学委託
使用料賃借料支出	102,000	102,000	0	異動博物館車「ゆめはく」借上料
諸謝金支出	255,000	200,000	55,000	講師謝礼外
小 計	910,000	810,562	99,438	
合 計	910,000	810,562	99,438	

令和元年度 指定管理者管理運営事業評価シート

1 評価対象施設

公の施設の名称	赤穂市立海洋科学館				
所在地	赤穂市御崎1891番地4				
指定管理者	団体名	(公財)赤穂市文化とみどり財団	指定期間	開始日	平成30年4月1日
	所在地	赤穂市中広864番地		終了日	令和3年3月31日
選定方法	公 募 ・ 非公募		評価実施年	指定期間3年のうち2年目	
施設設置目的	海洋科学に関する知識の普及及び啓発を図り、市民の科学教育の向上に資するため				
主な実施事業	(1)海洋科学に関する資料、機器及び装置を収集し、展示し、及び利用に供すること。 (2)海洋科学に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を開催すること。 (3)展示する資料、機器及び装置に関する調査研究すること。 (4)学校その他の関係機関と連絡し、及び協力すること。 (5)前号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事業				

2 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	目標	H30	目標	R1	目標	R2
a 利用者数	人	30,000	28,277	30,000	31,032	30,000	
b 稼働率	%	100	94.3	100	103.4	100	
c 受講者数							
d 参加者数							
e							

3 指定管理業務にかかる収支状況

区 分		平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度予算
収入計	A	20,827,079	20,262,660	21,618,000
指定管理料		15,957,530	15,010,343	16,040,000
利用料収入	C	4,102,390	4,441,755	4,668,000
自主事業収入		767,159	810,562	910,000
その他		0	0	0
支出計	B	20,827,079	20,262,660	21,618,000
事業費		20,059,920	19,452,098	20,708,000
内、人件費	D	12,666,874	12,546,826	13,450,000
内、再委託料	E	2,510,810	2,570,070	2,844,000
自主事業費		767,159	810,562	910,000
事業収入	A-B	0	0	0
利用率比率	C/A	20 %	22 %	22 %
人件費率	D/B	61 %	62 %	62 %
再委託費比率	E/B	12 %	13 %	13 %

・支出欄「D・E」は代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。
 ・事業費は、該当年度及び過年度決算を記入する。また、右欄には、次年度予算を記載する。

補足説明

4 事業評価

評価区分	評価項目	自己評価	所管評価	
① サービスの履行	人員体制	事業計画に則し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		事業計画に則し、計画的に研修等を実施している。	B	B
	法令順守	法令・条例等に基づき、必要な点検・報告を行っている。	B	B
	外部委託	外部委託に際し、適切に業者を選定し、業務指導を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する条例を順守し事故防止対策を講じている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市との連絡調整を適切に行い、情報の共有が図れている。	B	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B
		緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。	B	B
緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。		B	B	
財務状況	指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	B	
総括	【業務の実施体制】に関する評価】	B	B	
② サービスの質	施設管理	協定書等に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	A
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	B	B
	利用者対応	利用許可、利用料金の徴収、減免等の受付業務を適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉使い、態度、服装等待遇が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に則し、必須事業を実施している。	B	A
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	A
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	A
	維持管理	管理運営基準等に従い、施設の維持管理を適切に行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、遅延なく市に報告している。	B	B
事業評価	利用者アンケート調査を実施し、その結果を利用者等に公表している。	B	B	
提案事項	各種提案事項について、市と協議し、検討を行っている。	B	A	
利用状況	利用者数等は、目標に対し妥当な水準である。	B	A	
総括	【業務の内容・水準】に関する評価】	B	B	
③ 安定性	経理事務	適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価 【標準4項目/本施設4項目】	B	B

<p style="text-align: center;">所見 (成果、課題等)</p>	<p>【自己評価】</p> <p>設置目的等に照らし、概ね要求水準を満たしているが、施設・設備面で、エレベーターがなくお客様からの不満を受けている。</p>		
	<p>【所管評価】</p> <p>館の維持管理に努めるとともに、自然観察や科学実験等文化施設としての役割を果たしながら、塩を中心とした館のイメージアップによって来館者の増加に努めている。今後は利用者の安全確保に努めながら状況に応じて、日本遺産「日本第一」の塩を産したまち播州赤穂について、塩の国とともに情報発信に努め、赤穂の魅力発信に努められたい。</p>		
前年評価	B	総合評価	B

※評価基準

A	優良	基協定書、仕様書、事業計画書等を遵守し、要求水準より優れている。
B	良好	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
C	要改善	協定書等に定める要求水準を下まわっており、改善が必要と認められる。